

# 神経内科

## 1. 概要

2013年のスタッフは、昨年と同様4名のままで需要に十分対応できない体制でした。

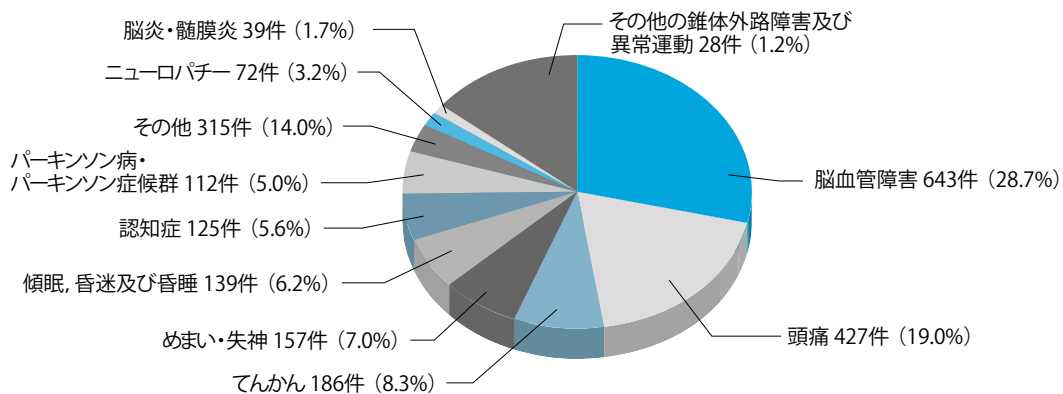
入院診療：2013年の総入院患者数は昨年より60名余り多く596人でした。入院患者の疾患の内訳は、例年通り、脳血管障害が約60%を占め、超急性期脳梗塞のtPA治療例もtime windowが3時間から4.5時間になり少し増えています。その他あらゆる神経疾患、また神経疾患以外も入院しております。治療後の退院・転院は、患者総合支援センターにより、随分スムーズになりましたが、転院先の混雑具合、独居老人など難しい家族背景などのため、とても月日がかかる例も多く、そう簡単にはいかないのが現状です。

外来診療：年間の総数は8,837名で昨年同様、その内初診者数はやや増加し1,426名でした。あいかわらず当科に、あらゆる神経疾患が集中し対応しきれておりません。頭痛、めまいなどの軽症の方は、1、2次医療機関でまず対応していただけるとよいのですが、受診制限をしない限り無理のようです。

(第一部長 空野 謙次)

### ●疾患別頻度

総件数：2,243件



### ●科指定6疾患

	疾患名	件数(件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	112
2	多系統萎縮症	6
3	脊髄小脳変性症	10
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	15
5	重症筋無力症	14
6	多発性硬化症	15
	計	172

## 座長・司会（医局）

### <神経内科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	特別講演	空野 謙次	Fighting Vascular Events in 東三河2013 ~of Japanese, by Japanese, for Japanese~	2013/3/15
2	特別講演	空野 謙次	三河パーキンソン病治療学術講演 会	2013/4/19
3	特別講演②	空野 謙次	ニュープロパッチ発売記念講演会 in東三河	2013/6/21
4	講演 2	空野 謙次	第24回STROKEカンファレンス	2013/10/17
5	特別講演	空野 謙次	パーキンソン病セミナー	2013/12/13

## 講演（医局）

<神経内科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	急性期病院における認知症対応	岩井 克成	認知症ミーティングin東三河 ～認知症治療薬の使い方～	2013/2/13

## 論文・著書（医局）

<神経内科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び 共同研究者	雑誌名
①	XK遺伝子に点変異を認めたMcLeod症候群の 1例	酒井 竜一郎	神経内科 78(3):344-347頁, 2013年